広島民報

2021年 4月4日 第2596号
月3回刊
日曜日発行

発行所　広島民報社
〒730-0013 広島市中区八丁堀8-11／電話(082) 228-4046
（昭和41年2月19日第三種郵便物認可）
1ヵ月 240円(送料126円)／1部 80円
郵便振替 01330-2-34778

© 広島民報社　2021年

再選挙4・25参院広島
市民連合集会で宮口氏決意
日本共産党　宮口勝利に全力

河井案里元参院議員の当選無効に伴う参院広島選挙区の再選挙（8日告示、25日投開票）で野党統一候補の実現をめざす「広島2・3・5区市民連合」が3月28日、広島市内で集会を開き、無所属新人でフリーアナウンサーの宮口治子氏（45）が決意を表明しました。

自民党は新人で元経済産業省官僚の西田英範氏（39）＝公明推薦＝の擁立を決めましたが、北海道2区ではカネを受け取って辞職した農水大臣の後釜が決められず不戦敗を余儀なくされました。日本共産党広島県委員会は「金権腐敗事件に謝罪も反省もない自民党に審判を下し、宮口候補の勝利へ力を合わせよう」と呼びかけています。

集会で宮口氏は「子どもに障害があるシングルマザーとして小さな声を国政に届ける」と述べ、市民連合との政策協定書に調印。①金権腐敗選挙を払拭②コロナ対策に十分な予算を③核兵器禁止条約参加を日本政府に求める④安保法制など立憲主義に反する法律の廃止―など6項目の基本政策に合意しました。

立憲民主、共産、社民の3野党から決意表明があり、共産党の村上昭二県委員長は「政策協定に盛り込まれた安保法制の廃止は、野党共闘の1丁目1番地だ。ヒロシマならではの課題である核兵器禁止条約も盛り込まれ、他の野党とともに頑張る」と訴えました。

集会で決意を表明する宮口氏＝3月28日、広島市

庄原市議選4日告示11日投票
日本共産党の谷口、ふじき両氏
議席倍増で議案提出権活用へ

谷口隆明氏

ふじき百合子氏

4月4日告示（11日投票）の庄原市議選で、日本共産党は現職の谷口隆明議員（66）に加え、新人のふじき百合子市政対策委員（65）が立候補して現有1議席から倍増し、議案提出権の獲得をめざします。選挙戦は定数20に対して現職6人が引退する一方で、新人9人の立候補が予想され、3人はみだしの様相です。

党市委員会が昨年11月から今年1月に実施した市民アンケートには約2300通の回答が寄せられました。暮らし向きについては「よくなった」がわずか4％に対して「悪くなった」が38％。

（2面へ続く）

開票結果

◆廿日市市議選
（定数28―立候補34）

当	2,972	吉屋　智晴	42	無新
当	2,771	広畑裕一郎	60	無現
当	**2,087**	**大畑　美紀**	**63**	**共現**
当	1,714	山田　武豊	52	無現
当	1,672	浜本　紀洋	72	無新
当	1,640	山崎　英治	51	公新
当	1,619	井上佐智子	65	無現
当	1,600	坂本　和博	67	無新
当	1,550	栗栖　俊泰	52	無現
当	1,538	新田　茂美	66	無現
当	1,536	高橋みさ子	67	無現
当	1,411	山下竜太郎	47	無新
当	1,355	大崎　勇一	55	公現
当	1,345	北野　久美	49	無現
当	1,340	中島　康二	71	無現
当	1,288	隅田　仁美	60	公現
当	1,229	山口　三成	74	無現
当	1,203	堀田　憲幸	73	無現
当	1,201	水野　善丈	29	諸新
当	1,166	枇杷木正伸	73	無現
当	1,142	徳原　光治	72	無現
当	1,108	岡本　敏博	68	無現
当	1,094	向井　恵美	52	無元
当	1,091	佐々木雄三	70	無現
当	1,052	林　忠正	72	無現
当	1,043	梅田　洋一	49	無新
当	1,031	田中　憲次	76	無現
当	1,017	荻村　文規	50	無現
	1,012	仁井田和之	75	無現
	884	石塚　宏信	69	無現
	598	徳政　宏一	53	無新
	591	堀　裕平	29	無新
	362	瀬木　寛親	56	無新
	275	藤原　博規	60	無新

（投票率＝46・71％）

廿日市市議選28日投開票
日本共産党　大畑氏が議席確保

28日に投開票された廿日市市議選（定数28、立候補34人）で、日本共産党は大畑美紀氏（63）＝現＝が2087票を獲得して3位で当選し、現有1議席を確保しました。議席占有率は3・57％を維持しました。

大畑美紀氏

大畑氏の得票（得票率4・69％）は前回の2407票（同5・03％）から320票減。廿日市市の2017年10月の衆院比例得票の3363票（同6・36％）を1276票下回りました。投票率は過去最低でした。

比例中国
大平よしのぶ 奮戦記

「目に見えるところだけでなく、目に見えないところにこそ支援が求められている」―昨年伺ったある町の町長の言葉が印象に残っています。現場に出向き、よく見てよく聞いて、思いをはせて、それでもまだ気づけていないことがたくさんある、そのくらい謙虚に、そのくらい必死に仕事をしようということだと受けとめました。

年が明け、引き続きコロナ禍の生活現場に足を運んでいます。2月、福山市で出会った焼肉屋を営むご夫婦は「今日もお客は来ないだろうと思いつつナムルを作って準備をするが、やっぱり閉店までお客は来ず、腐る手前の肉を自分たちで食べナムルは廃棄する」と悔しさをかみしめながら話されました。3月に三原市で出会った親子。パート勤務のお母さんが解雇にあい、大学生だった娘さんは学費が払えず退学に追い込まれます。話を伺いながら度々、絶句と沈黙が続きました。

苦難軽減は連帯づくりの活動

一方、国会に目をむければ、業者への支援を求めた島根県知事に「国会に呼んで注意する」と言い放つ自民党の竹下亘衆院議員や、選挙買収で辞職に追い込まれ、それでもなお国民の前に姿を現さない河井夫婦、利害関係者から高額接待を受け規範に違反しておきながら「返金したからもう終わり」と片付けようとする議員や官僚たち。「目に見えないところへの支援」どころか、我が事のみ、国民生活なんて何一つ見ようとしない姿ばかりです。こういう議員には選挙で退席の審判を下すしかありません。

前述の三原市の親子、20歳の娘さんからその日の夜、私にLINEが届きました。「大平さんを信じてがんばります。私と同じように辛い思いをしている学生さんを助けてください！」。すでにまわりに目が向いているのです。この日、彼女とお母さんは日本共産党に入党されました。国民の苦難に寄り添い軽減する事業は、一人ひとりにとっての感謝や政治への怒りとともに大きな魅力となり、ともにたたかう仲間を広げる連帯づくりの活動です。

地下水

桜満開の3月28日、参院再選挙の野党統一の予定候補・宮口治子氏を「市民と野党の力で政治を変える広島集会」で広島の市民連合が応援することになりました◆河合案里氏の失職に伴う再選挙（8日告示25日投票）は、広島から金権政治を無くしたいとの広島県民の強い怒りと運動が検察を動かし、世論を強めて実現しました◆広島3市民連合と宮口氏との政策協定の6項目の内容は、金権政治の一掃、コロナ禍からいのちと暮らしを最優先する政治の実現など、私達の願いに合致するものとなっています◆再選挙の最大の争点は、金権腐敗政治をどうするのかですから、国民を裏切り続ける自民党に絶対に議席を取らせるわけにはいきません◆広島県で初めて全県挙げて野党統一候補を擁立して戦う選挙です。広島の新しい時代を作る選挙として壮大な取り組みを繰り広げようではありませんか。被買収議員を告発した訴状も検察に受理されました。「金券政治許さない」―この声を広げに広げましょう。（○）